



防災について心掛けましょう



防災センター

伊達市には活火山である有珠山があり、20年から30年の周期で噴火を繰り返しています。噴火を含む災害は、伊達市に住む私たちの生活の近くに存在しています。

災害から私たちの命を守るために、日頃から防災への意識を持つことが大切です。

災害は待つてはくれません。いざというときに慌てないために、準備・心構えが大切です。

市では、2000年の有珠山噴火を教訓に、災害に強いまちづくりを推進するために地域の防災拠点施設として防災センターを建設しました。

次のことを確認しましょう。

- ①災害に対する正しい知識を得る。
- ②水や食料など、非常用の持ち出し品の準備・確認をする。
- ③避難場所や避難経路、避難方法を確認する。
- ④火の始末と初期消火の方法を覚える。
- ⑤家の周りの危険箇所の点検をする。
- ⑥家族の避難場所や避難方法、役割分担を確認する。

北海道伊達市防災情報Twitter(ツイッター)をフォローしよう！

「北海道伊達市防災情報 Twitter」は、災害発生時に災害情報や避難情報を発信するほか、防災に関する講演会などの催しもご案内しています。フォローして緊急時の情報収集に備えましょう。

アカウント名：@bousai_date_hkd



ガイドブックを確認しましょう。

伊達市では、さまざまな災害時にどのように行動したらよいかを掲載した各種ガイドブックを作成しています。

皆さんには転入の手続きをしたときに、市民課からお渡ししていますのでご覧ください。

洪水ハザードマップ

大雨により長流川と気門別川の堤防が決壊し浸水するおそれがある場合に、安全に避難していただけるよう令和3年2月に改訂しました。

このマップでは、浸水区域とその深さ(浸水深)、避難所情報を記載しています。

降雨量や土地の状況によっては、土砂災害などが発生する場合がありますので、関係機関が発表する気象情報や予報・警報に十分注意し、早めに自主的な避難行動をとるよう心掛けましょう。



有珠山火山防災マップ

有珠山周辺の市町と共同で「有珠山火山防災マップ」を作成しました。

この防災マップには危険区域予測図をメインに、火山現象(降灰・火砕流・泥流など)や噴火が健康や暮らしに及ぼす影響、有珠山噴火の特徴や警報の種類などを掲載しています。



津波ハザードマップ

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震で発生する津波の浸水被害想定を示したハザードマップを作成しました。

このハザードマップは、最大クラスの津波を想定して作られていて、津波の浸水予想範囲や浸水の深さ、避難経路・避難場所などを地区ごとにまとめています。

伊達市が大きな津波に襲われる危機に面したときは、どこに、どのように避難するのか、日頃からご家庭で話し合っておきましょう。



！ 自主的に避難しましょう

ハザードマップやガイドブックは、災害の規模を大きく想定して作成していますが、あくまでも数値は予測です。

実際に起こる災害は、予測以上である可能性も少なくありません。実際に災害が起こったとき、自分の地域は関係ないと思わずに、危ないと思ったら自主的に避難をしましょう。